

---

# エネルギー！

棒人間

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

エネルナ！

### 【Nコード】

N3059BA

### 【作者名】

棒人間

### 【あらすじ】

ある者がいました。

不思議な力を持ったある者が。

課せられた使命を果たすためにその者は旅立ちます。

## 始まり（前書き）

書き溜めようと思いましたけど見切り発車でGOします。

## 始まり

ある国と国の境目の森。

この広大な森の中にポツンと小屋がありました。

2つの国の名は知りません。

ですが私にとってはどうでも良い事です。

朝には近くの小川から水を汲み、薪を拾い、木の実を食べ、昼には鳥達の歌を聴き、夜には仲良くなったワーウルフさんを1人、小屋に招き一緒に食事とったりもします。

遠くふもとの人達はワーウルフさんを危険だと言い殺している様ですが、私にとっては大事な友達の1人です。

そんな毎日をごす私でした。

## 夜のお前さん

「あ、小鳥さんこんにちは。」

ピー、チチチとお返事が帰ってきました。  
後で木の実をあげましょうか。

川原におりて顔を洗い、木のバケツで水を汲み家に帰りました。

そういえばワーウルフさんがくれた固いパンと言ったものがありましたね。

朝はパンと言ったものを小鳥さんと食べましょう。

昼は狩りをしました。

尊い命をいただきます。

あなたの肉体が消えても神がまた新たな肉体をくださるでしょう。  
生きる糧をありがとう。

お祈りをしてその場で解体したあと骨は川に流しました。  
採ったお肉の半分は燻してしまっておきましょう。  
そうそう今日もワーウルフさんが来るんです。  
今夜はスープを作りましょうか。  
そうと決まったら野菜も採りに行かなくては。

コトコト良い匂いです。  
スープは出来ました。  
今日採ったお肉も入っています。  
ワーウルフさんは喜んでくれますでしょうか。

ワーウルフさんが来ました。  
片手に小さな入れ物を沢山持っています。  
私へのプレゼントだそうです。  
中身はジャムでした。  
お茶やパンに付けて食べる事にします。  
ワーウルフさんはとても優しいです。  
ギュッと抱きしめるとちょっぴり毛が固くてごわごわしていました。

ですがとても安心できます。

ワーウルフの顔が少し赤くなっていました。

何故かはわかりません。

昨日だって木の実を採っていた時にお礼の為に抱きしめました。

その時はなんとも無かったはずです。

熱でしょうか。

ワーウルフさんは答えてくれました。

「その…夜のお前さんは…な？」

あ、すっかりしていました。

そうでした、私は。

## 夜のお前さん（後書き）

サブタイトルが微妙にエロい響きですが他意はありません。笑



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3059ba/>

---

エネルギー！

2012年1月10日21時47分発行